

【海匠地域】平成30年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

1 展示の概要

設置場所	匠瑳市	品種	アキヒカリ
土性	砂壤土	播種日	3月25日
播種量	140g/箱	移植日	4月23日
幼穂形成期	6月15日	出穂期	7月8日
成熟期	8月14日	収穫日	8月18日

2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	80.3cm	穂長	17.4cm
穂数	558本/m ²	倒伏程度	1.2
粗玄米重	673kg/10a	標準単収値	572kg/10a

3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

(1) ほ場の土づくりの実施

・堆肥種類：－	・施用量：－
・施用時期：－	

(2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

・(基肥) N量：10.3kg/10a	※肥料銘柄：スーパーらくだくん
・(追肥) N量：－	※肥料銘柄：－
追肥実施日：－	

(3) 冷害を避けるための適期の移植

・移植日(5月中旬を推奨)：4月23日

(4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

・栽植密度(55株/坪を推奨)：52.4株/坪
・植付本数(4～6本/株を推奨)：4本/株

4 考察等

幼穂形成期頃から茎数が過剰となったため、無効分けつの発生が多く、一部で倒伏等が発生したものの、高い収量を得ることができた。

(参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	9 kg/10a (砂質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します